

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012年 10 月 31 日

派遣者氏名（専門分野）	中尾薫	（ 演劇学 ）
-------------	-----	---------

派遣期間	2012 年 7 月 26 日	～	2012 年 9 月 23 日
------	-----------------	---	-----------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
中華人民共和国（特別行政区）	香港	嶺南大学（群芳文化研究及発展部）

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

施設概要

嶺南大学（Lingnan University）は、香港の新界地区に位置する公営大学で、人文学、商学、社会科学の全3学部、教員数819名、学生数2701名と小規模ながら、教師陣、学生ともに国際色豊かな校風。人文学部に、芸術系講座（視覚研究系）を有するほか、文化研究系、中文系に、中国古典演劇や、演劇教育を専門とする研究者も多い。演劇、映画、写真などの実践と研究、芸術家支援活動を活発に行なっている。訪問受け入れ先の群芳文化研究及発展部（Kwan Fong Cultural Research and Development Programme）は、嶺南大学の人文学・文化研究系の研究組織で、おもにアジアの演劇を研究対象とする若手研究者を任期付で雇用し研究の助成を行なっており、研究者との交流活動や研究状況の把握、演劇情報等の収集には利便性が良い。

□嶺南大学 HP <http://www.ln.edu.hk/>

□群芳文化研究及発展 HP（英文）<http://www.ln.edu.hk/ihss/crd/index.html>

ロケーション

香港西鐵線（West Rail line）の兆康（Siu Hong）駅から徒歩10分。香港国際空港へは約1時間40分、香港の中心地である香港島や九龍地区へは約1時間かかり、近くにその他研究施設、博物館などはほぼ皆無。香港の主要劇場も遠く、利便性がいいとは言えない。

言語

香港の公用語は、広東語・普通話、英語で、大学施設内の案内板、掲示物、公的書類はすべて広東語（繁体中国語）と英語が併記されており、ほとんどのスタッフは英語が通じるが、簡単な単語のみの英語を用いる方が通じやすい。これは嶺南大学以外の香港各地でも同様だった。

図書館利用申請

嶺南大学の図書館は、演劇美学、中国古典音楽研究の所蔵書が充実しているが、在籍学生、雇用スタッフのみしか入場は許可されない。今回は、特別なルートで入場をさせてもらった。ただし、ほとんどの書籍は電子データ化されており、ネット閲覧が可能。これも在籍スタッフに私的にお願いして閲覧させていただいた。

その他施設利用申請

群芳文化研究及発展部の受け入れ申請は、Project Coordinator とのメール交換で行なった。研究者受け入れを主な業務とする施設のため、宿泊所の手配、研究室の確保、大学内でのネット使用等の必要な手続きはすべて先方が滞りなく行なってくれた。